

# 崇徳興仁

## 中 SOTOKU 同窓会だより

NO. 22

2010年(平成22年) 11月12日 崇徳学園同窓会本部発行 崇徳学園同窓会ホームページ <http://www.soutoku-ob.net>  
 崇徳学園同窓会事務局 / 〒733-8511 広島市西区榑木町4丁目15番13号 TEL(082)237-9331 FAX(082)230-2897



▲本校体育館の仏壇に安置されている17世紀初頭に建立された木造阿彌陀如来立像。

見れでたい。来光普うさ博陀紙がの3様八中  
守り修昭。像の約確でれる物如にもある淨から周年一  
続復和。の青の像でと七館来多も財に寄にのて一  
けさ四十九。あり世の協もとと立載の先長より崇にの表を  
いて園。ののをともと阿の光のの史のの建崇のを  
て宗。ののをともと阿の光のの史のの建崇のを  
行教。ののをともと阿の光のの史のの建崇のを  
事。ののをともと阿の光のの史のの建崇のを  
な。ののをともと阿の光のの史のの建崇のを  
を。ののをともと阿の光のの史のの建崇のを

CONTENTS	
大会長あいさつ	(P.2)
高橋理事長あいさつ	(P.2)
吉田校長あいさつ	(P.3)
同窓会この一年	(P.3)
今年度の合格状況	(P.4)
崇徳祭に模擬店出店	(P.4)
全国大会出場のクラブ紹介	(P.5)
中学校トピックス	(P.5)
頑張っています文化部	(P.5)
支部寄稿	(P.6)
Pick Up同窓生	(P.7)
世界に飛躍する同窓生	(P.8)
がんばれ！崇徳健児	(P.8)

崇徳学園同窓会の最新活動状況は崇徳学園ホームページで。  
[www.soutoku-ob.net](http://www.soutoku-ob.net) で(検索)して下さい。

## 幅広い同窓会活動を目指して

崇徳学園同窓会会長

大本和則 (昭和44年卒)



九月十三日、上川大樹さんが世界柔道選手権の無差別級で金メダルを獲得するというビッグニュースが入ってきました。崇徳の卒業生が活躍される姿を見ますと素直に嬉しく、同窓として誇らしく思います。上川さんの今後ますますのご活躍を期待しています。

十月三日、崇徳中学校の第四十四回運動会がありました。伝統の演技種目に一生懸命取り組んでいる生徒の皆さんが規律のなかで競技を楽しんでいる姿があり、大変さわやかな感じを受けました。力強く、楽しく、和やかな運動会であり、先生と生徒の皆さんの間に信頼関係があり、全体としてまとまりがあることを強く感じました。本当にすばらしい運動会であったと思います。同窓会もそのようにありたいと願っています。

同窓会活動の一つとして新たに委員会を設置し、委員会活動を通じて同窓会全体の活性を図ることを考えています。具体的にはこれから検討に入る段階ですが、総務、広報、財務等の委員会を設けて同窓生の皆様に積極的に参加していただくことを考えています。その中でいろんな意見を出して頂き、検討をしていただくことにより幅広い同窓会活動ができればと思っています。ただ、同窓会の財政は非常に厳しいものがあります。現在、同窓会のホームページにおいてバナー広告を募集していますので、ご支援をよろしくお願ひします。同窓会のホームページには、同窓会の活動報告や生徒、卒業生の活躍等の情報を掲載していますので、是非覗いてみてください。

**崇徳学園同窓会役員名簿 (二〇〇九年度)**

会長	大森 正和 (S34年卒)	副会長	松岡 誠生 (H11年卒)
副会長	永井 健二 (S42年卒)	副会長	藤原 成 (H5年卒)
副会長	原 康二 (S44年卒)	副会長	藤原 隆彦 (S46年卒)
副会長	山本 裕博 (S44年卒)	副会長	藤原 隆彦 (S46年卒)
副会長	小早川 秀雄 (S48年卒)	副会長	藤原 隆彦 (S46年卒)
副会長	河野 敏 (S51年卒)	副会長	藤原 隆彦 (S46年卒)
副会長	河野 敏 (S55年卒)	副会長	藤原 隆彦 (S46年卒)
事務局長	樽本 秀夫 (H2年卒)	事務局長	樽本 秀夫 (H2年卒)

## 新たな飛躍をめざして

崇徳学園理事長

高橋 兼宣 (昭和33年卒)



今年の夏は記録的な炎暑、猛暑、酷暑の連続でした。秋のお彼岸も過ぎ、青空が天空いっぱいになり、さすがに涼しい日々となつて参りました。崇徳学園同窓生の皆さまにはご健康にお過ごしのことと、心よりお慶び申し上げます。

さて、明治8年(1875年)に創建されたこれらの学園は、今年、135年の節目を迎えました。外部の支配下に置かれていたが、2001年に主権を回復してからの10年間は度々10年となります。この間に学園内部から校長へご就任いただいた鳴川先生が、6年間にわたって崇徳教育の再興にご尽力いただき、本年3月にご退任となりました。そして4月からは、同様に崇徳プロバターの先生である吉田義規先生に校長へご就任いただき、崇徳教育の充実に磨きをかけていただいております。こうした流れの中で、教職員の方々が一致結束して、校長先生とともにことごとく下さっていることは、なによりも嬉しいことです。こうしたご努力によって、文武両道の育成をめざす崇徳教育は引き続き堅実に実績を積んでおります。

進学実績は、どうしても年によって多少の違いは避けられませんが、それにしても東大、京大、阪大等の合格者をはじめ、関西・関東の有名私大への進学は毎年、多数に上っています。

スポーツの面でも、実績は隆々としています。今年、全国高校総合体育大会に8クラブが出場し、国民体育大会へも、柔道・弓道・バレーボール・ラグビー・体操競技・ボクシング・自転車競技・水泳の8種目に選ばれました。特筆すべきは、今年9月に開催された柔道の世界選手権大会において、本校の卒業生(日20年卒)である上川大樹君が無差別級で、強豪のデビッド・リネール選手(フランス)を下して優勝したことでしょう。

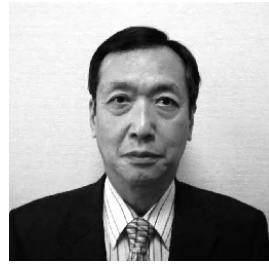
最後に、学園設備の面でご報告します。今年、4号館の耐震工事を済ませました。ご承知のように広島県の学校の耐震化率は全国で44位と極めて劣悪ですが、本校は今年度の工事の結果、全国平均を上回る良好な状態となりました。

少子化の影響や文部行政のブレなどによって、私学経営は極めて厳しい環境下に置かれていますが、崇徳は新たな歴史に向かって雄飛しなければなりません。今後とも、変わらぬご支援を賜りますよう、お願いいたします。

# 健康、誠実、精進、感謝

崇徳中・高等学校長

吉田 義 視



同窓生のみなさま、改めてご挨拶申し上げます。私は今年四月から教育現場の船頭を仰せつかりました新米校長の吉田と申します。前任者鳴川校長先生の「崇徳隆盛路線」を踏襲したいものと日々願いつつ、この大船の舵を握っています。何卒よろしくお願ひいたします。伝統校と呼ばれて久しい崇徳学園では三十七年間務めてきました。そして、大輪の美しい花を、みごとで立派な果実を、同窓生諸氏のご活躍によりいくつも見せていただきました。甲子園選抜大会の優勝、バレーボールの三冠達成、柔道の活躍、また近年ではボクシングの立って続けの全国優勝など、スポーツ面の輝きは私の血も湧きたつ感動を覚えたことでした。一方の勉学の成果においても同窓生諸氏は見事に目標を遂げられて立派な合格・進学実績を残され、多くの卒業生が東大京大をはじめとする難関を突破し、文武両道にわたる花を咲かせる場に私は立ち会わせていただきました。学園の花と嵐との日々、微力ながら懸命にたつたのは、進学実績をあげることでした。スポーツに励むのも受験勉強に打ち込むのも、懸命になることでは何ら異なりません。それは真面目に頑張り抜く、姑息なことは考えず腹をくくって正面突破することではないかと思ひます。多くの先輩先生や同僚諸氏に教えられ支えられて、朝は六時から晩は九時までの指導を続けました。卒業生諸君の頑張り、国立大学合格が珍しかった状況から三十人・四十人と合格者数を増やしました。その一助となれたことは最大の喜びです。

この間、私が言い続けたのは「受験勉強は人間性を高める手段だ」ということです。己を鍛え己に打ち勝たねば成果をあげることは出来ません。刻苦勉勵の基をなすのは人間としての成長です。徹し長い受験勉強、そこで最も大切なことは、校訓四綱領に示される「健康・誠実・精進・感謝」です。「持久・忍耐」を加えて受験の基盤が揃います。大学合格とこれらを学び実践しながら立ち向かう人生構築のための正面突破の戦いだとかざり続けてきました。

四綱領を戴きつつ、同窓生諸君のお力添えをいただいて、現在のまた将来の生徒諸君にもこんなことを口走りながら任を全うしたく願っております。

## 同窓会この一年

- 2009(平成21年)
  - 11月3日 崇徳祭(新型インフルエンザのため中止)
  - 11月13日 2009年度同窓会総会及び懇親会(ホテルグランヴィア広島)
  - 2009年度活動報告・決算
  - 2009年度予算
  - 副会長の退任、副会長幹事の選任について
  - 11月28日 報恩講
  - 12月5日 当番幹事懇話会新担当番幹事引継ぎ会(ホテルグランヴィア広島)
  - 2010(平成22年)
    - 2月5日 第一回同窓会(広島ハイツホテル)
    - 2009年度同窓会懇親会決算報告
    - 幹事会の運営について
    - 同窓会会則の改定について
    - ホームページ・パンナー広告について
    - 2月27日 崇徳高等学校卒業生表彰式
    - 「クラブ活動優秀者表彰」崇徳学園体育館(大本会長)
    - 3月1日 崇徳高等学校卒業式
    - 崇徳学園体育館 森正副会長・河野副会長
    - 3月20日 22日 全国高校選抜大会広島会場(ホテル)
    - 3月27日 近畿崇徳会(大阪 市成事務局)
    - 4月5日 第一回幹事会(広島ハイツホテル)
    - 2010年度同窓会懇親会決算報告
    - 2010年度同窓会懇親会当番幹事の紹介
    - 4月8日 懇親会の運営について
    - 4月8日 第63回崇徳高等学校入学式(大本会長・森正副会長・河野副会長・鶴岡副会長)
    - 4月16日 第64回崇徳中学校入学式(森正副会長・河野副会長・鶴岡副会長)
    - 4月16日 崇徳学園歓迎会(広島アパルテ)
    - 5月21日 降誕会・開校記念式(大本会長・森正副会長・河野副会長・鶴岡副会長・清水監査)
    - 6月2日 第一回幹事会兼第二回同窓会総会(大本会長・森正副会長・河野副会長・鶴岡副会長)
    - 6月12日 同窓会懇親会の運営について
    - 6月25日 第二回同窓会総会(広島国際ホテル)
    - HPの保守管理の契約について
    - 同窓会会則の改定について
    - ホームページ・パンナー広告について
  - 7月10日 同窓会副会長人事について
  - 7月10日 同窓会総会・懇親会運営について
  - 7月23日 同窓会副会長・森正副会長・河野副会長・鶴岡副会長・清水監査
  - 7月23日 同窓会総会・懇親会の運営について
  - 8月6日 チケットの配布について
  - 8月6日 原爆忌(大本会長・森正副会長・清水監査)
  - 8月18日 第四回同窓会総会(広島ハイツホテル)
  - 同窓会会則の改定について
  - 幹事会の運営について
  - 同窓会副会長人事について
  - 8月26日 ホームページ・パンナー広告について
  - 同窓会総会・懇親会運営について
  - 同窓会総会・懇親会の運営について
  - 懇親会の余興について
  - 9月6日 今後のスケジュールについて
  - 9月6日 第五回同窓会総会(広島ハイツホテル)
  - 同窓会会則の改定について
  - 同窓会総会・懇親会の運営について
  - 9月16日 第六回同窓会総会(崇徳学園体育館)
  - 同窓会総会・懇親会の運営について
  - 9月22日 第五回幹事会(崇徳学園会議室)
  - 同窓会総会・懇親会の運営について
  - 10月3日 崇徳中学校運動会(大本会長)
  - 10月7日 第七回同窓会総会(崇徳学園体育館)
  - 同窓会総会・懇親会の運営について
  - 10月13日 同窓会総会・懇親会の運営について
  - 10月13日 第六回幹事会(崇徳学園会議室)
  - 同窓会会則の改定について
  - 10月19日 同窓会総会・懇親会の運営について
  - 崇徳学園理事長採用伝達式(大本会長)
  - 10月25日 第八回同窓会総会(崇徳学園体育館)
  - 同窓会総会・懇親会の運営について
  - 同窓会会則の改定について
  - 委員会運用規定について
  - 奨学金基金より取り出し承認の件
  - 11月1日 第七回幹事会(崇徳学園会議室)
  - 2009年度活動報告
  - 2009年度決算(2010予算)について
  - 同窓会総会の運営について
  - スリムフラットタルの製作販売について
  - 会計監査(崇徳学園理事長室)
  - 崇徳祭について
  - 監査(清水監査・中川監査)
  - 11月3日 崇徳祭





2009年度大学・短大・専修学校合格状況

大学名	09	08	07	大学名	09	08	07	大学名	09	08	07	大学名	09	08	07	大学名	09	08	07	
東京	0	1	0	エリザベト音楽	0	2	2	駒澤	1	1	3	南山	1	1	1	奈良	0	0	1	
京都	0	0	1	近畿(東広島)	7	34	33	芝浦工業	3	4	3	藤田健康衛生	1	0	0	私立 近畿 計	91	131	188	
北海道	0	2	1	日本赤十字広島	1	0	0	昭和	0	0	1	名城	3	1	4					
大阪	1	0	0	比治山	6	1	6	杉野服飾	0	0	1	皇学館	1	0	1	九州産業	0	0	3	
広島	5	5	8	広島経済	58	55	39	成隆	1	0	1	鈴鹿医療科学	0	0	1	西南学院	1	0	1	
岡山	0	0	2	広島工業	32	63	40	成城	1	0	3	私立 中部 計	19	16	16	中村学園	0	1	1	
山口	5	7	6	広島国際	30	30	32	専修	6	6	10				福岡	6	2	6		
鳥取	0	1	3	広島国際学院	3	2	0	創価	1	2	0	長浜ハイオ	0	0	2	専命館アジア太平洋	0	0	2	
島根	0	2	2	広島修道	58	75	63	大東文化	3	2	0	大谷	0	0	1	九州保健福祉	2	1	0	
徳島	0	0	1	広島都市	1	0	0	拓殖	3	2	0	京都外国語	0	0	2	私立 九州 計	9	4	13	
香川	0	0	1	広島文化学園	3	2	2	玉川	0	1	1	京都学園	1	0	2					
愛媛	3	1	6	福山	2	1	3	多摩	0	1	0	京都産業	3	6	12	比治山大学短期	1	0	0	
高知	1	0	1	福山平成	2	0	2	中央	3	6	6	京都精華	1	1	1	広島国際学院短大	0	2	2	
北見工	1	0	0	岡山商科	0	1	1	帝京	2	3	12	京都造形美術	0	0	2	広島文化短期	0	1	0	
茨城	0	0	1	岡山理科	1	4	4	東海	6	5	7	京都文教	1	0	0	国学院短期	0	0	1	
筑波技術	0	1	0	川崎医科	1	1	1	東京医療保健	1	0	0	成安造形	0	0	1	聖杏外造大学(短期)	0	0	1	
埼玉	1	0	0	川崎医療福祉	4	1	1	東京聖栄	1	0	0	同志社	9	16	12					
千葉	0	0	1	環太平洋	0	0	1	東京電機	1	2	0	佛教	1	1	3	(所管外)				
東京工業	1	0	0	吉備国際	0	1	1	東京都心	0	4	1	立命館	12	19	34	広島県立短期大学	0	0	1	
横浜国大	0	1	0	くらしき作臨	0	1	1	東京農業	6	3	4	龍谷	14	32	30	短大 計	1	3	5	
富山	0	2	0	倉敷芸術科学	1	2	1	東京理科	5	1	4	大阪青山	0	1	0					
信州	0	1	0	就実	2	0	0	東洋	3	1	3	大阪大谷	2	0	0	大学名	09	08	07	
三重	0	0	1	東亜	0	1	1	二松学舎	1	0	2	大阪学院	2	7	5	国立・公立等 計	35	40	66	
京都教育	1	0	0	徳山	1	1	0	日本	14	9	10	大阪経済	0	0	3	私立 計	437	517	586	
神戸	2	2	0	山口福祉文化	0	0	1	日本獣医生命科学	0	0	1	大阪経済法科	0	0	2	短大 計	1	3	5	
和歌山	0	0	1	山口東京理科	0	0	1	日本文化	0	1	0	大阪芸術	1	0	4	総 計	437	560	657	
九州工業	2	0	3	四国学院	0	0	1	日本体育	0	3	1	大阪工業	1	1	4					
長崎	1	0	0	高松	0	0	0	法政	7	6	12	大阪国際	1	0	0					
大分	0	0	1	徳島文理	0	1	0	明治	4	4	11	大阪産業	4	1	0					
琉球	0	0	1	高知工科	0	0	1	明治学院	0	1	0	大阪成英	0	0	1					
(国立)	24	26	41	松山	5	1	1	明星	1	1	1	大阪体育	0	0	1					
				私立 中・西国 計	218	280	239	白百	0	0	1	大阪人間科学	0	0	1					
								立教	2	0	1	大手前	1	0	0					
広島市立	7	2	14	道都	1	0	0	立正	1	0	2	関西	11	8	17	専修各種学校				
県立広島	2	3	3	酪農学園	0	1	1	早稲田	0	1	5	関西医療	0	0	1	アニマルベジタニジョン	1			
尾道	0	1	0	私立 北海道 東北 計	1	1	1	神奈川	1	2	0	関西外国語	2	1	5	トヨタ名古屋自動車学校	1			
岡山県立	0	0	1					神奈川工科	0	0	3	近畿	9	11	16	エコー社 大阪	1			
山口県立	0	0	1	流通経済	2	1	2	関東学院	1	1	0	関西学院	4	8	7	広島自動車大学校	1			
下関市立	0	0	1	上武	0	0	1	聖マリアンナ医科	0	0	1	拱南	2	2	3	広島工学院大学校	1			
島根県立	1	1	0	埼玉工業	1	0	0	私立 関東 計	99	85	129	堺山学院	0	1	0	福日医療専門学校	1			
首都大学東京	0	1	0	東京国際	1	2	1	金沢医科	1	0	0	帝塚山学院	0	1	0	大塚総合教育システム	1			
横浜国立	0	1	0	文教	0	0	1	金沢工業	0	2	1	阪南	2	0	2	広島情報専門学校	2			
岐阜薬科	0	1	0	神田外語	1	0	0	岐阜聖徳学園	1	0	1	桃山学院	0	3	0	広島会計学院	1			
大阪府立	0	1	1	国際武道	0	1	1	静岡産業	0	1	0	関西国際	0	1	0	広島県保健医療専門学校	2			
神戸市外国語	0	1	0	城西国際	0	1	0	愛知	1	0	0	関西学院	4	0	1	広島県美容専門学校	1			
北九州市立	1	0	1	千葉工業	0	0	2	愛知学院	0	1	0	近大姫路	0	0	1	ビジョナリアーツ	1			
長崎県立	0	0	1	帝京平成	0	1	1	愛知工業	0	1	0	甲南	2	3	3	佐賀県立有田農業大学校	1			
熊本県立	0	0	1	青い山学院	2	0	2	慶知工業	0	1	0	神戸学院	1	1	4					
(公立)	11	14	24	亜細亜	0	1	2	慶知淑徳	0	1	1	神戸芸術工科	1	0	0					
国・公立 計	35	40	65	学習院	4	0	0	中京	7	2	3	神戸国際	1	1	0					
				北里	0	0	1	中部	0	2	1	神戸薬科	1	0	0					
				国立音楽	1	0	0	中部学院	0	1	1	宝塚造形芸術	0	1	0					
				工学院	1	0	1	名古屋外国語	0	1	0	姫路獨協	0	3	1					
				工学院	4	3	1	名古屋学院	1	0	0	兵庫	0	0	1					
				国士館	1	2	3	名古屋商科	1	2	1	流通科学	1	0	0					
												帝塚山	0	1	0					
												龍央	0	0	1					

11/3 崇徳祭

綿菓子にポップコーン&スポーツマフラータオル販売

催され、2年間の思いがこもった素晴らしい崇徳祭となりました。同窓会から、同窓生で落語家の古今亭菊丸さん(京都正夫さん昭和44年卒)とマツシヤンのRYOさんのお二人が祭りを盛り上げてくれました。模範店では、綿菓子とポップコーン、そしてスポーツマフラータオルを販売。会長はもとより、副会長、幹事の皆さんが販売しました。特に、スポーツマフラータオルは好評でした。また、綿菓子は自分で作って頂く形にして大好評でした。ポプコーンは、PTAの女性陣に販売のお手伝いを頂いてからは絶好調でした。今年も模範店の場所を隣に設営させて頂いたことで活気のある模範店となりました。模範店周辺でマツシヤンのRYOさんがマツクを披露頂き最後までご協力頂きました。

## 2010(平成22)年度の全国大会出場クラブ紹介

高/中	クラブ名	出場大会名
高	柔道部	第32回全国高校柔道選手権大会(団体・個人4名) 81kg級 第2位 宇都宮光樹 無差別級 第3位 飯田 健伍 2010(平成22)年度全国高等学校総合体育大会(個人5名) 90kg級 第3位 久保田諒一 全日本ジュニア体重別選手権大会(個人2名) 81kg級 第3位 宇都宮光樹 第65回国民体育大会 団体 第3位(3名)
	弓道部	第28回全国高等学校弓道選抜大会(個人) 2010(平成22)年度全国高等学校総合体育大会(団体) 第65回国民体育大会 近的競技 第6位(3名)
	バレーボール部	第41回全国高等学校バレーボール選抜優勝大会 2010(平成22)年度全国高等学校総合体育大会 ベスト8 第65回国民体育大会 第7位(8名)
	体操競技部	2010(平成22)年度全国高等学校総合体育大会(団体) 第65回国民体育大会(団体)
	ボクシング部	第28回全国高等学校ボクシング選抜大会(個人1名) ライトウェルター級 ベスト8 渡辺 大樹 2010(平成22)年度全国高等学校総合体育大会(個人4名) ミドル級 ベスト8 加納 大地 第65回国民体育大会(個人2名) フライ級 第5位 中原 悠太
	自転車競技部	第28回全国高等学校選抜自転車競技大会(個人1名) 個人ロードレース 第3位 鍵本 大地 2010(平成22)年度全国高等学校総合体育大会(ロードレース) 第65回国民体育大会(ロードレース)
	陸上競技部	2010(平成22)年度全国高等学校総合体育大会(800m 1名)
	ラグビー部	第65回国民体育大会 第7位(1名)
校	水泳部	2010(平成22)年度全国高等学校総合体育大会 (400m自由形・個人メドレーに1名) 第65回国民体育大会(400m個人メドレーに1名)
	柔道部	第41回全国中学校柔道大会81kg級 第3位 野々内悠真

★頑張っています。文化部……

## SOTOKU 茶道部

茶道部は上田宗箇流より、家元正教授の和田宗汎先生をお迎えし、ご指導を賜っております。あわただしく変化する世の中で、この時ばかりはゆっくりと時間が流れます。



写真は、10月3日(日)、私学フェスタ会場でのお点前です。



SOTOKU

中学校トピックス

## パソコン部

家にパソコンがあるのが当たり前になりつつある現在、パソコン=インターネット専用機のような使い方がしていない家庭も増えている。しかし、パソコンはとても便利な「道具」であり、使いこなせばいろいろなことができる。

パソコン部ではそんなパソコンの「可能性」を知ってもらうため、パソコンを使った創作活動を目的として活動している。音楽、映画のCGシーン、ゲーム、雑誌やチラシなどの印刷物……これらのものほとんどがパソコン、またはそれを発展させた機械を使って作られている。ならば簡単なものなら自分たちでもパソコンで作れるはず。

現在、部員たちは自作ゲームや3DCG、合成写真を用いた「アハ体験ムービー」など、様々な創作物に取り組んでいる。そしてその成果を毎年崇徳祭で発表している。今年は中学の文化部でありながら3年制コースの高1からも入部者があり(文化部は基本的には中高ともに活動できる)、新たな流れが出来た。これからもパソコンのおもしろさ、奥の深さを追求し、幅広い活動を続けていきたい。

# 支部寄稿

## やさしさで粘りの底力をもつ母校

崇徳学園同窓会 関東支部会長 黒川 弘 (昭和33年卒)



緑と太陽と水の太田川河畔で伸び伸びと学び、毎朝宇品から横川へ。母校の前の橋はまだ有りません。福島校長、武田教頭、竹野名誉校長長英、明石先生社会、西田先生化学、久保先生数学等の諸先生のご指導を受け、宮島口への全校マラソンにも参加しながら昭和三十三年卒業し、京都大学を経て国づくり地域づくりの建設省に。防災局長や都市局長を経験。三重県副知事の時、前田校長を津市の

浄土真宗高田派の総本山専修寺にご案内した際、奥の院の床の間に無量寿経の「崇徳興仁」の額。そのご縁に感激の経験も。

関東支部は会員約五百名余、昭和六十三年に設立され、青社老の全員参加・役割分担で島原昭士代表幹事、瀧口裕行総括、重本康成局長のご指導の下、文武両道、財界の重鎮・東京広島島県人会副会長の岩部金吾氏、落語会の双壁真打の古今亭菊丸・柳家福治の両氏、バレーの井原文之氏等も役員で幅広い活動を展開中です。毎年の総会と懇親会のほか、母校の選手諸君が関東で活躍の際「関東同窓会旗」をもって応援参加、ゴルフ会等が中心です。今年の支部総会には高橋理事長、大本同窓会会長、古田校長、鳴川前校長もご出席、会員と親しく御懇談。関東への進学予定者に本年から高校卒業時に支部の情報を配布し、参加は無料。同窓生としては、母校の動きを校長先生から直接拝聴したり、後輩の元気な大学生諸君と親しく懇談し、また母校の選手を直接応援できることは、胸のときめく一番楽しい一瞬です。また現在母校の理事も拝命し、降誕会や原爆忌法要で生徒諸君の素晴らしいエネルギーに接する。なお、私事ですが、本年春の叙勲で瑞室中授章の栄に。伝達式の皇居での陛下の拝謁の際、長い間の社会的貢献に感謝しますとお言葉を賜り大変光栄でした。これも母校のお陰であり、また早速お祝いの言葉を頂戴し大変有難う御座いました。母校と同窓会の益々の御発展を願います。

合掌

崇徳学園同窓会の活動は地域・職域における支部活動やクラブOB会など様々な交流が積極的に行われています。

## 崇徳学園を想う

近畿崇徳会会長 内田 信 (昭和28年卒)



近畿崇徳会よりご挨拶をさせて頂きます。こちらの夏も貴地同様に猛暑でした。京都の日本海側で38度などと、まさに異常であり、おまけに台風も日本海より本土に上陸しています。「好い加減にして欲しい」、心境です。この夏に負けず、崇徳健児たちは沖繩総体で活躍され、母校の威光発揮されたことは、賞賛に値し頭が下がります。母校は文武両道を実践されて、体育系のみならず文化系でも同数位の部会があり、グリークラブなど夫々が活躍されていると伺いました。OBとしても誇れる事、近くに來られた時、いつでも力を発揮されている様であり、今年も近畿地区では90名が大学に進学され、大変慶賀な事であり、微力ですが、何か応援すべきと考えております。

ここで当会に付いて紹介しなければと思えます。20年程前になりますか、野球部出身者が数名大阪におりました。集まって「ゴルフでもやろうか」が始まりで「SOB会」と命名しました。以後、新年には宴会をやるのも定例となり、会員も増えて二十数名ともなり、催しも盛会でした。その後10年前頃より近畿広島県人会近辺より、県下の学校が連絡を取り合っスポーツなど応援すれば、より強大になるのでは、と協議会を創るのに再三誘われ7年前より参加しています。現在15校が参加し、県代表の応援や会員の親睦のための事業などを行っております。今の会名は其の時に、会則など基盤整理し、命名したものです。今後も会員数や内容も充実していきたいと考えています。「人の輪を広げよう」をモットーに勤めますので、ご指導の程宜しくお願い致します。

最後に、学園へのお願いです。私学で無くては出来ない教育です。宗教・道徳に、学園へのお願いです。日本人18歳以上対象のある調査で「宗教に関心があるか?」の質問に対し「有る」と答えたのは20%でした。この様な時代には、生徒の朝は「仏参」で始まる事は素晴らしいと思えます。私の頃は、必ず理解する筈です。歌声の大小は問題では有りませんが継続していけば、も我々の生活の中に多く溶け込んでいる筈です。冒頭の「好い加減...」も、その一例では。余計なことを申し上げまして恐縮です、今後とも宜しくお願い申し上げます。



崇徳学園同窓生の皆さんがさまざまな業界や地域で活躍されています。今回も頑張る同窓生をご紹介します。いただきます。

## 食を通して「みなさまに健康と若さ」をお届けしたい。食と食空間のトータルプロデュース。 ホーユー

広島で平成六年に創業し、地元広島はもとより中四国地方の官公庁、大学、短大、中学校、高校、特別支援学校、学生寮などの食堂、給食業務を担当している株式会社ホーユー。代表取締役の山浦芳樹さん(平成元年卒)は、「食堂」「給食」という言葉に何か懐かしさを感じると言う。あのめくもり、手づくりそしておくろの味。毎日いただくものだからこそ大切に、つかの間のお昼休みを笑顔で過ごしていただきたいと思うとの事。又、食材にもこだわり、この思いで、「地産地消」のコンセプトのもと、米や野菜、鶏卵、産地限定の乳製品など地域で生産された食材等も積極的に使用している。

従来の食堂のめくもりを残しつつ、既成概念にとられない柔軟かつ斬新なアイデアで、多方面において評価をいただいている。

崇徳学園では中学、高校と六年間学園生活を過ごした。当時の同級生とは今現在も交流があり、お互いの仕事話や昔の学園生活などに会話がはずむ機会が多いそうだ。学園生活の中で、学問と共に精神も学び「きずな」を築けた事が財産のひとつだそうで、今の経営に役立っているとの事。



趣味は「食へ歩き」。仕事の関係上、毎月出張が多く色々な所で、ご当地名物などを味わい食材の勉強もしている。

今後は給食業者として、食の提供にとどまらずスポーツや健康食などのメニュー開発、食堂の新規開設から設計施工までのトータルプロデュースを提案していきたいと抱負を述べられた。

### ●株式会社 ホーユー

広島市西区己斐本町二丁目十七ノ十四  
 Ⅸ〇八二一五〇七〇〇三五  
 山浦 芳樹さん(平成元年卒)

## 「土地、住まいそして街づくりのクリエイター」

### 東亜グループ



敵しい不動産及び建設業界の中にあつて、目覚ましい成長を続ける「東亜グループ」を率いるのが、西本義弘さん(昭和52年卒)。

今年創業45周年を迎えた「東亜地所」は広島で約1万件の供給実績を誇る総合不動産企業である。「顧客第一主義」「地域社会への貢献」という企業理念のもと、地域の住環境を活性化する活動として、小中学校、集会所などの用地提供、スポーツ施設や多数の公園施設、路線バスの導入を推進する他、街開き初期から交流イベントを進めるなど、地域のコミュニティを活性化するように積極的に働きかけている。さらには地域美化活動として「広島まちの美化に関する条例制度」にも参画。近年では21世紀最大規模で、広島県下で初めて国土交通省「優良計画開発事業」の認定を受けた事業である東亜植園「1タウン」春日野に着手、「100年先を生きる街」をコンセプトに、2400区画で2万人が集う大型団地を開発中である。

「万、住まいの夢をカタチにする」を信条に総合住宅クリエーターとして躍進し、現在は県内5カ所の住宅展示場にモデルハウスを展開する「東亜ハウス」。創業40周年を迎え、注文住宅の主力を環境に優しく、自然素材を使い健康に良い住宅として「ロハストーリー」シリーズを展開。今後は太陽光発電システムや家庭用燃料電池「エネファーム」などを備えた住宅の販売促進を目指す。特に、広島県産の木材を使用した住宅の普及に積極的に、「地産地消」の家づくりを進める中、伐採後の山に植樹する環境保護活動にも熱心で、毎年植樹バスツアーを実施し、社員と般の参加者100人がドングリ

など約400本の植樹を行った。地域や地元を愛し、更なる事業発展を目指す西本さんは、崇徳高校時代のクラスメートであり現在早稲田大学の硬式野球部監督の應武さんや、バレーボール部のメンバー達とも交流があり、学生時代はその練習を眺めては声援を送っていたそうである。そんなクラスメートとのつきあいを大切にしている西本さんは、卒業して30年以上たった現在でも数名との交流が続き、本音の付き合いができる友達があることが大切な事であると話。



さらに今年、56周年を迎えた広島ライオンズクラブの会長に就任し、公私ともに全国を飛び回り、大活躍ですが、活発な同窓会活動が母校の発展につながるのと熱い思いから今年度より同窓会幹事も拝命され活躍中である。

●東亜地所株式会社 広島市中区大手町三丁目一ノ一 Ⅸ〇八二二四四一〇一一  
 ●東亜ハウス株式会社 広島市中区八丁堀六ノ十六 Ⅸ〇八二二二二一六一六  
 代表取締役社長 西本 義弘さん(昭和52年卒)

# 世界に飛躍する同窓生

## 世界柔道選手権大会2010

### 無差別級で優勝!

明治大学3年

上川 大樹さん(平成二十年卒)



2010年9月13日東京代々木第1体育館において行われた男子無差別級において本校の卒業生である上川大樹さんは初出場ながら世界選手権100キロ超級3連覇のテディリネール(2)を下し金メダルを獲得した。世界ランキングは32位、無差別級の日本勢の優勝は、2007年棟田康幸(29)以来。

#### 加美富章柔道部監督よりご祝辞と談の言葉

平成20年卒業した上川大樹は、高校入学以前の中学生当初より、崇徳学園の柔道部の強化会館に参加してあります。中学時の体格は同年代よりも少し大きく、目立ち子で力強く思いきりのある柔道をしていた印象があります。しかしその反面、投げる事ができない、技が掛からないなど柔道が思い通りいかないような事があると、ふてくされて座り込み練習を放棄するような場面もありました。

高校入学後、特に思い出深いのは、練習中によく大きな体で涙を流して泣いていたことです。その涙の訳は、自分自身の柔道に納得がいかなかったからでした。特にOBの胸を借りて稽古では、畳を叩きながら悔しがって泣いておりました。そのように相手が誰であろうが、自分の気持ちに素直になり、全心を賭けて稽古に打ち込む姿勢こそが、世界の頂点に立つという偉業を成し遂げる事に繋がった事だと思います。

今後、更に期待されて、日本の代表としての試験や苦悩が待ち受けている事は間違いないかもしれませんが、持ち前の前向きな姿勢と明るさで、己と相手に打ち勝ち、子供の頃から夢であるオリンピックでの金メダルを獲得してもらいたいと思っております。

\* 上川 大樹(かみもり)だいきー1990年10月13日山田生まれ、20歳。  
10歳で柔道を始める。山口・鴻南中・崇徳高卒。現在は明治大学3年。09年、インターハイ優勝、09年、ワールドベスト22位、アジア選手権13位、全日本学生3位、10年全日本学生権威別格決勝で鈴木桂治に本音で激しく挑んで優勝。得意技は内また。185センチ、140キロ、血液型B。

## ★中ガンバレ! 崇徳健児!

### 2010夏

## 全国中学校柔道大会

特別に暑かった今夏の全国中学校柔道大会が島根県立総合体育館で行われた。

各都道府県より1位を勝ち取った選手達が一堂に会し、本校からは個人戦で主将の81kg級野々内悠真(3年)が出場した。県大会で敗れ去った部員の期待を一身に背負った全国舞台。プレッシャーと緊張の中で当日を迎え、これまでの練習として実戦での分析を身体に染み込ませ試合に臨んだ。誰しも硬くなる初戦を僅か10秒で一本勝ちを取めた後、23回戦を突破しベスト8へ。更なる苦戦を強いられる中ひとつ勝ち、昨年の90kg級3位の重松昌樹に肩を並べた。しかし、ここ惜しくも神奈川県代表の折原虹之介選手に一本負けを喫した。

彼は全国3位という結果を残したが、決してこれに満足することなく今後一層の精進を重ね、更にその上の優勝を目指して頑張ってくれることを大いに期待する。同時に、これまで支えて頂いた総監督並びに監督、コーチをはじめ、ご両親、保護者会の皆様、部員達への感謝の気持ちも忘れず、こなく心の中に残しておいてほしい。

柔道部 中学部長 中本公司



#### 編集後記

歴史と伝統ある崇徳学園の同窓会副会長の大役を拝命して早一年を迎えようとしています。役員としてこの一年間、その活動の中心は、総会・懇親会に向け、当番幹事の皆さんと共に多くの同窓生の皆さんが母校を懐かしみ、母校の発展をより身近に感じ取っていただくために検討を繰り返してきました。

また、同窓会だよりへの関わりの中で、三万名を超える同窓生の皆様が各界で大活躍されるその姿を誇らしく感じます。  
戦後六十五年、内憂外患の我が国の現状は大きな節目を迎えて、今ほど日本の将来を担う子ども達の教育が大切である事を感じたことはいまありません。その子ども達の成長を支え、応援する事が同窓会本来の役割ではないかと肝に銘じた二年間でありました。  
山本 ちくま